（別紙）

※申請する研究会の実施要領（別紙）に記載の各項目の注意書きに沿って記入のこと。

※各項目の記入にあたっては、必要に応じて枠を拡張すること。

2026年度「乳の学術連合」

学術研究申請書

提出日　　　年　　月　　日

研究者・研究代表者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **分野** | 牛乳乳製品健康科学　・　乳の社会文化　・　食と教育  （該当するものに〇を付してください） | | |
| フリガナ  氏　名 |  | 年齢  （申請時） | （歳） |
|  |
| 所属研究機関 |  | | |
| 研究課題名 |  | | |
| 研究形態 | 個人　　　・　　　共同　(該当項目に○を付してください) | | |
| 研究者または研究代表者の略歴 | | | |
| 共同研究の場合の研究メンバー(研究機関名･役職･氏名を明記) | | | |
| 他の団体等からの研究助成がある場合、その概要  （助成団体名称、助成期間、助成金額、研究テーマ名、本研究との関連を明記） | | | |

1.研究目的・計画・方法

（図も含めて①～④合わせて2,000字程度）

評価委員会では、以下の評価項目で評価するため、簡潔・明瞭・論理的に、十分に説明すること。

**・新規性**これまでの乳に係る、教育研究または食育研究にない研究か

**・妥当性**研究目的に対する研究手法と結果の導き方が適切か

**・社会的貢献性**乳を活用した教育または食育で、社会的課題や食育課題を解決する汎用性・実現性の高い研究か

以下の項目をたて、項目ごとに簡潔に記述すること。

1. 研究の背景（200字程度）

※関連文献（自己の研究も含む）と本研究との関係を具体的に示すこと

1. 研究の明確かつ具体的な目的
2. 研究の方法、評価の方法

※研究の方法と評価の方法を具体的に記載し、妥当性を説明すること

1. 本研究の教育的価値を踏まえた乳に関する意義

※社会的貢献性を説明すること

|  |
| --- |
| 最後に①～④の合計字数（〇○字）を記載すること。 |

2.支出計画

複数年研究の場合は、総額・各年<研究開始年度を先頭>の順で、枠を複写して作成のこと。

【総額（又は○年度研究）】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 支出基準 | 経費項目 | 積算基礎 | 金額(千円) |
| （例：消耗品費） | （例：ビーカー） | （例：1個\1,000×5） | （例：5） |
|  | | 合　計 | 千円 |

3.研究者・研究代表者の研究業績

本項目にてこれまでの研究の信頼性･妥当性を持つ研究を行えているかを判断する。

(過去3ヵ年間の調査・研究業績、査読の有無を記入)

|  |
| --- |
|  |

4.学会･論文投稿スケジュール

研究目的･計画･方法を踏まえた学会発表･論文投稿(学会名、雑誌名等)の予定を記入。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 年月 | 発表・投稿先 |
| 口頭 |  |  |
| 論文 |  |  |